

輝かしく令和の初春をお迎えのこと
お慶び申し上げます。昨年の大変お世話
になりました。誠にありがとうございました。

さて、ダブルニュース令和二年一月よりもお届け
致します。歯科への評価も国において確実に
高まっております。今年も頑張りますので、
引き続きご指導の程よろしくお願い致します。

令和二年一月

山田 宏



1月1日

令和2年

発行

山田宏よい国後援会
機関紙



令和2年度歯科関連予算・災害関連も含め 今年度予算の2倍の16億円超！ 参議院議員 山田宏

令和初めての新春を迎えました。昨年もお世話になりました。今年もどうかよろしくお願いたします。

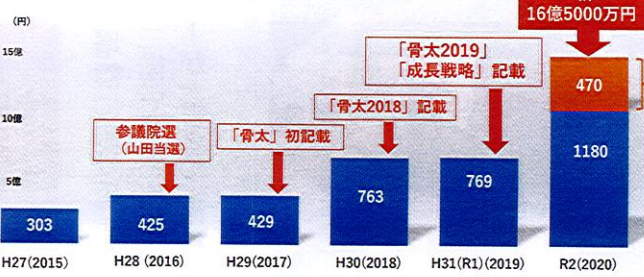
さて、昨年の「己亥(つちのえ)」の年は、「乱れを正す年」でした。そして今年の「庚子(かのえ・ね)」の「庚」とは、「更」であり、前年にやり始めたことを継続しながら、さらに一歩一歩更新し、進化させていく年です。

また「子」は「種子」で、「増える」ことを意味し、今年には昨年正した流れを継続しつつ、進化させ、様々なものを増やしていく年となります。

今年は、疾病予防や介護予防という健康政策の柱にしっかりと歯科をすえ、「国民皆歯科健診の実現」という公約に向かつて、さらに歩みを進めていきたいと思っています。

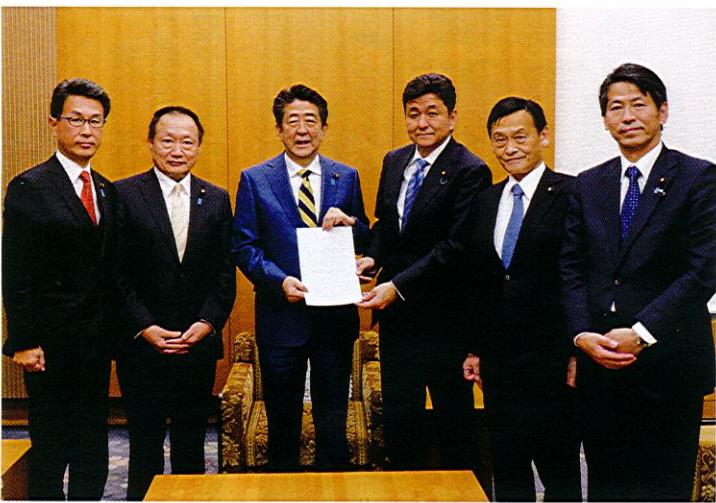
歯科保健関連予算の推移

平成25(2013)年度～令和2(2020)年度



「歯科口腔保健・歯科保健医療の充実・強化」予算より。平成28年～令和元年度は予算ベース、令和2年度は予算案。

グラフ1 歯科保健関連予算の推移(山田宏事務所作成)



令和元年12月11日 緊急要望の提出

安倍総理と二階幹事長に直談判

昨年末、「診療報酬改定はプラス改定に」「歯科関連予算は16億円満額確保を」と、歯科口腔医療勉強会(岸信夫顧問・山田宏座長の43名のメンバーも結束して、安倍総理、二階幹事長や菅官房長官に直談判で歯科の重要性を訴えてきました。

診療報酬改定では、本体部分0.55%のプラス分を確保し、救急病院の働き方改革に0.08%が回ることで残りの0.47%プラス分は医科・歯科・薬科の1.0...1.1...0.3という従来通りの

配分率で決着をみることができました。

一方歯科関連予算では、当初の財務省提示が今年度の7億6千万円を少し上回る額でしたが、最終的には今年度の2倍の16億5千万円を確保することができました。とりわけ、「災害用ポータブル歯科ユニット」を2セットずつ各都道府県に配布する4億7千万円の新規予算を国土強靱化予算から確保し、災害時だけでなく普段でも地域での訪問歯科診療にもお役立ていただけることになります。

「国民皆歯科健診を実現する議員の会」が発足

昨年12月10日に、各界を代表する自民党有志議員により「国民皆歯科健診を実現する議員の会」が発足、古屋圭司元国務大臣を会長、私が事務局長に就任しました。

この会は、人生100年時代に向けて健康で長寿な社会づくりを通じて、増大する医療費を結果的に抑制し、国民皆保険制度を安定的に維持していくと、高校で義務化が終わる歯科健診を国民が生涯を通じて行えるよう法制度を整えていくことが目標です。

第1回の勉強会では、糖尿病内科医の西田互先生による医師からみた歯科の重要性について講義をいただき、活発な議論が行われました。今後数回勉強会を行った上で議員連盟として拡大し、骨太方針にある「生涯を通じて歯科健診の充実」を法文化すべく活動を展開していきます。

(詳細は裏面をご覧ください)

歯科口腔医療充実に向けての緊急要望

内閣総理大臣 安倍 晋三 殿

歯科口腔医療勉強会
顧問 岸 信夫
座長 山田 宏

人生100年時代に臨み、生涯を通じた疾病予防や介護予防といった健康政策が極めて重要になっており、予防といった観点でも歯科口腔医療の充実こそが切り札になりつつあることは、これまでも政府が十分に認識され、様々な取り組みが実施されてきているところです。

そして令和2年度は、すべての団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年まで残すところ5年となる年であり、予防と健康政策の柱としての歯科口腔医療政策の充実が一層力を入れていかねばならないと考えます。

そこで、私たちはこの度の診療報酬改定と来年度予算、そして補正予算策定の最終局面にあたり、下記の通りの事項につき特段のご配慮を賜りたく要望いたします。

- 令和2年度診療報酬改定では、前回を上回る改定率を要望する。
口腔内の環境が健康であることが、医療費の削減効果をもたらすというエビデンスが確立している。歯科医療費は総医療費のわずか6.9%で2兆9千億円余に過ぎず、この状況下で世界一安価な診療報酬で世界有数の高度な歯科診療レベルを維持している歯科関係者の努力も限界にきており、診療報酬のプラス改定の実現を強く要望する。
- 令和2年度厚労省の歯科予算概算要求額15億円の満額回答を要望する。
歯科口腔保健・歯科保健医療の充実・強化として2年度は元年度の約2倍の15億4千5百万円を要求しているが、元来歯科予算は医科に比べてそのボリュームが格段に小さい。国民は歯科健診や予防処置による医療費の削減効果にエビデンスがあることを十分理解しており、また歯科が糖尿病などの様々な生活習慣病と密接に係わっていることも同様である。従って歯科予算の充実が国民の健康維持に大きく寄与することからも満額を要望する。

歯科口腔医療勉強会 緊急要望書

歯科口腔医療勉強会(令和元年12月現在)

相談役	衆議院議員	田村 憲久
相談役	参議院議員	関口 昌一
相談役	参議院議員	島村 大
相談役	衆議院議員	渡辺 孝一
相談役	前衆議院議員	比嘉 奈津美
相談役	衆議院議員	白須賀 貴樹
顧問	衆議院議員	岸 信夫
座長	参議院議員	山田 宏
事務局	衆議院議員	長尾 敬
	衆議院議員	上野 宏史
	衆議院議員	大串 正樹
	衆議院議員	岡下 昌平
	衆議院議員	小倉 将信
	衆議院議員	小田原 潔
	衆議院議員	鬼木 誠
	衆議院議員	木村 弥生
	衆議院議員	古賀 篤
	衆議院議員	小林 鷹之
	衆議院議員	斎藤 洋明
	衆議院議員	佐々木 紀
	衆議院議員	繁本 護
	衆議院議員	田中英之
	衆議院議員	田畑 裕明
	衆議院議員	中谷 真一
	衆議院議員	根本 幸典
	衆議院議員	船橋 利実
	衆議院議員	堀内 詔子
	衆議院議員	本田 太郎
	衆議院議員	三ツ林 裕巳
	衆議院議員	宮澤 博行
	衆議院議員	山田 賢司
	衆議院議員	鷲尾 英一郎
	衆議院議員	和田 義明
	衆議院議員	磯崎 仁彦
	前参議院議員	井原 巧
	参議院議員	大野 泰正
	参議院議員	上野 良祐
	参議院議員	酒井 庸行
	参議院議員	末松 信介
	参議院議員	中泉 松司
	前参議院議員	丸川 珠代
	参議院議員	山下 雄平
	参議院議員	吉川 ゆうみ

折り返し点を越え、さらに前進

平成28年7月の参議院選挙で、皆様の力強いご支援をいただき3年半が経過しました。私の「歯科を国の健康政策のど真ん中にする」という志は、ますます強くなっています。

この3年半の歯科関連予算の推移(グラフ1)は、歯科が国の健康政策の柱として認知されてきた証左です。私はこの正しい流れを、さらに一歩一歩確実に進め、さらに多くの種に増やし、歯科界が正当な評価を受けられるよう今年も全力で頑張る決意です。

12月16日 二階幹事長に要望

来年度歯科関連予算の増額に向けて、歯科口腔医療勉強会のメンバーで、二階幹事長に最後の要望に伺う。それぞれのメンバーが一言ずつ、歯科の重要性を訴えました。



令和元年12月16日 二階俊博幹事長に申し入れ

12月18日 菅官房長官に「災害時ポータブル歯科ユニット配備」を要望

歯科口腔医療勉強会での検討をまとめて、安倍総理への要望時に「災害時ポータブル歯科ユニット配備」を口頭で要望しましたが、国土強靱化のための予算を管轄している菅官房長官に強く必要性を訴えました。総理や官房長官からは「こういったものは必要」と力強い回答をいただきました。



令和元年 12月 18日
内閣官房長官 菅 義偉 殿

災害用ポータブル歯科ユニット等配備のための予算要望

歯科口腔医療勉強会
顧問 岸 信夫
座長 山田 宏

近年、これまでになかったような強い台風や豪雨、そして頻発する地震などによる大規模災害が多発する中、国土の強靱化とともに、被災地の避難所での支援体制を強化していく必要性がますます高まっております。

特に避難所における歯科医師や歯科衛生士による口腔ケアは、災害関連死や高齢者の脆弱化を防ぐ大きな効果があることが分かっており、避難所等で用いられる災害用ポータブル歯科ユニットや電源や機器材の配備が急がれるところです。

またポータブル歯科ユニットは、単に災害時のみならず、通常時も訪問歯科診療用として使用できることから、要介護者や障害者にとっても朗報となります。

そこで来年度予算の中で、災害用ポータブル歯科ユニット等を各都道府県に、予備も含め最低2セットずつ配備していただけるよう、下記の通り予算措置を要望いたします。

記

ポータブル歯科ユニット、及び発電機、照明装置、浄水装置など一式
47都道府県に2セット 計94セット

以上

災害用ポータブル歯科ユニット等配備のための予算要望書

有志議員

「国民皆歯科健診」を目指す

議員連盟の発足見据え勉強会

議員連盟の立ち上げを見据えた「国民皆歯科健診」で健康な人生100年時代を実現する会(国民皆歯科健診を実現する会)は、糖尿病専門医の西田氏を講師に招き、第一回勉強会を10日、東京都千代田区の衆議院第一議員会館で開いた。古屋圭司衆議院議員を呼びかけ人として、12人の国会議員が参加。今後、4回の勉強会を経て、議員連盟の立ち上げを図る。

古屋議員は、中学時代にアメリカにホームステイをして、歯科医院での定期健診の有無が民間保険の保険料に関わることから、中流家庭以上の人はほとんど歯科医院で定期健診を受けていることが印象的だったと



古屋議員



山田議員

また、司会を務めた山田宏参議院議員は、会のメンバーで3回か4回の勉強会を開き、議員連盟として立ち上げたいの思いを述べた。

役員等は古屋議員に一人、事務局長には山田議員が指名された。

西田氏による講演「糖尿病と歯の健康」は、歯と糖尿病の関連性や、歯周病の炎症による全身への悪影響を専門医から見た歯科医療について紹介。歯周病が

の意義、なぜ生涯を通じた歯科健診が必要なのか、で、残存歯数と医療費、入院日数との関係や、歯周病の炎症による全身への悪影響を専門医から見た歯科医療について紹介。歯周病が

原因で死産となった症例や、糖尿病、認知症にも歯周病が関係していることなどについて説明し、歯科の重要性を広く国民に伝えることが望まれていると訴えた。

▼メンバー (敬称略、五十音順)
▼石田昌宏(参)
▼岸信夫(参)
▼小林鷹之(参)
▼後藤茂之(参)
▼柴山昌彦(参)
▼島村大(参)
▼田村憲久(参)
▼長尾敬(参)
▼藤井基之(参)
▼古屋圭司(参)
▼三ツ林裕巳(参)
▼山田宏(参)



議員の山田氏

令和元年12月17日号 日本歯科新聞より



山田宏(やまだひろし)プロフィール

参議院議員(自由民主党)
参議院自民党副幹事長
前防衛大臣政務官
兼 内閣府大臣政務官
所属委員会
予算委員会
外交防衛委員会
沖縄及び北方領土に関する特別委員会(筆頭理事)

昭和33年(1958年)
1月8日生まれ(61歳)
京都大学法学部卒業。
松下政経塾第2期生。
東京都議会議員(2期)
衆議院議員(2期)・
杉並区長(3期)

山田宏を先生方の現場の声をお聞かせください。報告会・デンタルミーティングにお呼びください



山田宏の日々の活動は、ホームページ、フェイスブック、ツイッターでご紹介しています

山田宏公式サイト: www.yamadahiroshi.com

山田宏公式Facebookページ:

<https://www.facebook.com/yamadahiroshi.page/>

山田宏公式ツイッター: @yamazogaikuzo

山田宏よい国後援会 歯科部会にお入りください!

「骨太方針」2017・2018、そして2019でも更に踏み込んだ内容で、歯科の重要性が記述されました!

次は「生涯を通じた歯科健診」の法制化を目指し、歯科口腔医療の大切さが広く国民に浸透するよう働いてまいります。

ぜひ、ご入会いただき山田宏の活動をご支援いただけますようお願い申し上げます。



後援会員には会員限定的「スバリ通信」を年4回お送り致します。

⇒ぜひチェックしてください! お問い合わせはこちらにお願いいたします。

山田宏 国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1

参議院議員会館1205号室

Tel.03-6550-1205 Fax.03-6551-1205

習近平主席「国賓」来日に反対
「日中関係は「正常な関係」に戻ってはいない」

令和元年11月7日 参議院外交防衛委員会

今年4月に中国の習近平国家主席が「国賓」として来日します。私は昨年11月7日の参議院外交防衛委員会、茂木外務大臣に対して「国賓」招待に疑問を投げかけ、日中間の懸案事項や世界が危惧する中国の人権弾圧状況が全く改善されない中で「国賓」招待に反対する質疑を行いました。

まず尖閣諸島周辺では、毎日のように中国公船が領海侵犯の挑発を繰り返しており、2013年以来改善されるどころか酷くなっています。また「スパイ罪」などの容疑で拘束され服役させられている邦人が10名おり、どの行為がどの法律に違反したか明らかにされないまま不当な拘束が続いています。

またチベット、ウイグル、南モンゴルでは、中国政府による民族や宗教の弾圧が続けられ、香港では警察や軍隊による民主主義運動の鎮圧がエスカレートし、全世界から非難の声が上がっています。

こんな状況の中、中国の国家主席を天皇陛下下の招待である「国賓」という最高待遇で迎えてよいのでしょうか。1989年に一般民衆が軍によつて多数虐殺された天安門事件で、世界中から非難を浴び孤立していた中国を救ったのは、1992年の天皇陛下下の訪中で、世界から日本の「抜け駆け」と批判を受けました。もし習近平主席の「国賓」招待となれば、また「自分さえよければいい」日本と批判されることは確かだと思えます。

私の質疑後、「国賓」来日反対の声は日増しに大きくなっています。

11月7日参議院
外交防衛委員会での
質疑は→

